

新しい 避難所等の地図記号 - 西日本防災システム



以下は、弊社拠点の神戸市技術基準です。御注意ください。
情報元 国土地理院

災害時の緊急避難場所と避難所の表示マーク、災害表示が全国で統一されました。

地震や津波など災害の種類別に作製し、国内外から多くの観光客が訪れる2020年の東京五輪・パラリンピックまでに普及させるようです。

今年4月施行の改正災害対策基本法では、市町村に対し、災害発生直後に危険から逃れるための**緊急避難場所**と被災者が一時的に滞在する**避難所**の新たな指定・更新を義務付けました。

避難所などの表示はこれまで、各自治体ごとに様々でしたが、東京五輪では日本語が理解できない外国人や、土地鑑のない観光客が多く訪れることが予想されるため、分かりやすい絵柄の表示に統一し、迅速な避難につなげるという狙いがあるようです。

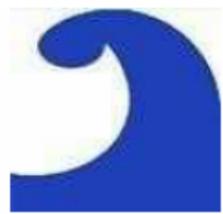
表示は**津波**、**地震**、**火災**、**洪水**、**高潮**、**土石流**、**火山** の災害の種類に応じて作製され、東日本大震災では、近所の避難所に駆け込んだけれども、津波で浸水し、命を落としたケースもたくさんあり、**どの災害に適した避難所**か一目で分かるようにするようです。



洪水



火災



津波



土石災害



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ



異常な現象として以下のような現象を定めます

- 洪水 
- 崖崩れ、土石流及び地滑り 
- 高潮 
- 地震 
- 津波 
- 大規模な火事 
- 一時的に大量の降雨が生じた場合において下水道その他の排水施設又は河川その他の公共の水域に当該白井を排水できないことによる浸水 
- 火砕流、溶岩流その他噴火に伴い発生する火山現象 

に対応する避難場所については、特定の地域に限定されるため災害種別を記号で表示するのではなく、ポップアップで文字表記となります。

避難所・避難場所の記号は、標識などで使用されているJISで規格化された記号があります。地図記号は地図上での視認性等を考慮し、JIS規格の避難所(建物)・広域避難場所の記号を簡略化したものです。



避難所



緊急避難場所



避難所 兼
緊急避難場所



避難所(建物)
(JIS Z 8210 6.1.5)



広域避難場所
(JIS Z 8210 6.1.4)



災害種別記号の表示

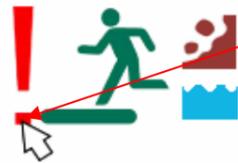
緊急避難場所には対応する災害種別記号を付す。
(避難所には災害種別はない。)



緊急避難場所には対応する災害種別記号を付します。(避難所には災害種別はありません)

メッセージの表示

津波の場合
使用不可



特別のメッセージがある場合や火山など特別地域の
災害種別は**赤い感嘆符**で示し、ポップアップでメッ
セージを表示します。



2

参考資料

JIS規格表示
JISZ8210



津波避難場所



津波避難ビル



津波注意
(津波危険地帯)



避難所(建物)
JIS Z 82106.1.5



広域避難場所
JIS Z 82106.1.4

